

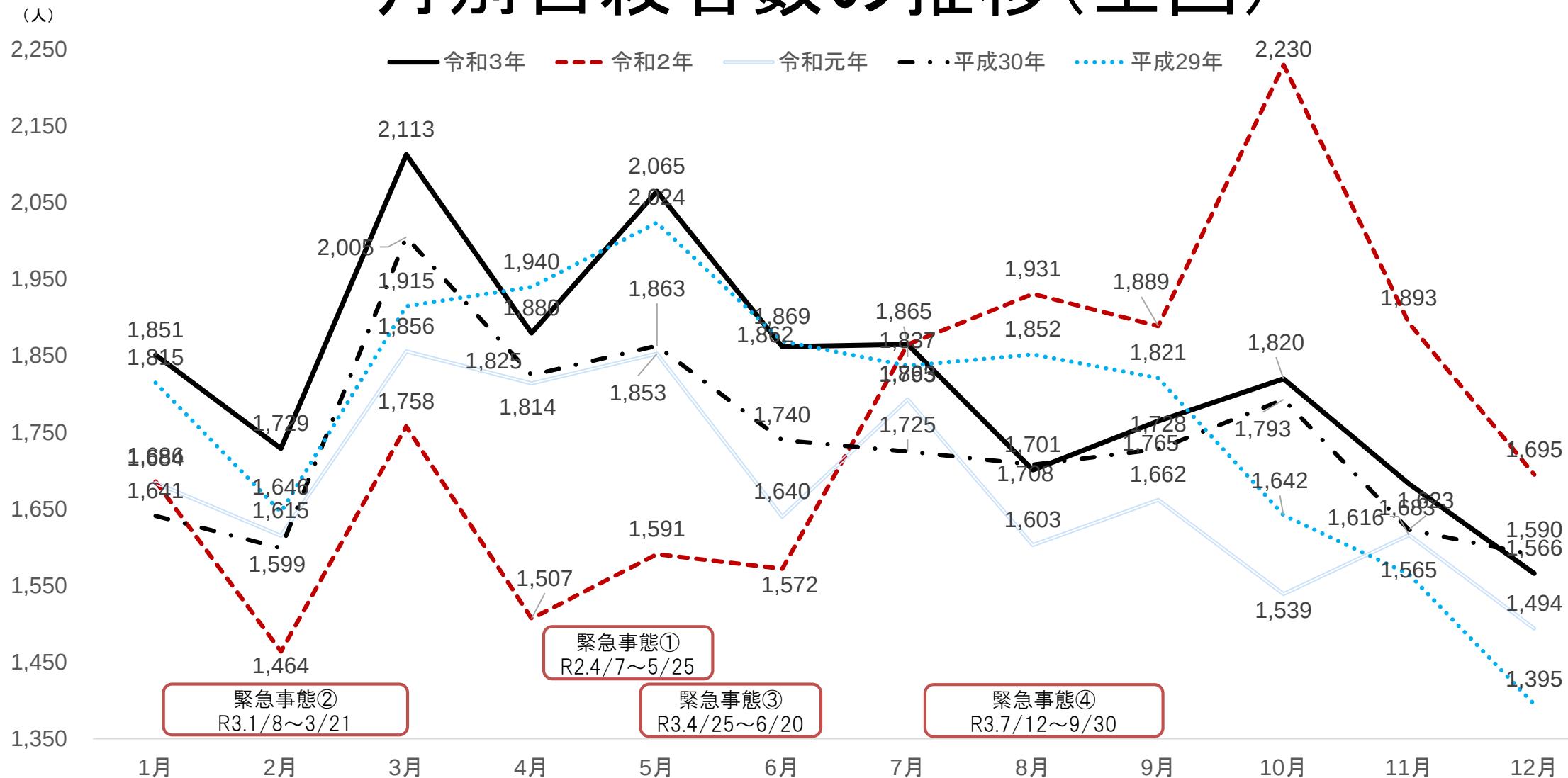
自殺の現状(全国)①

- 令和3年の累計自殺者数(20,820人:確定値)は、対前年比87人(約0.4%)減。コロナ禍前の前々年比では846人増。
- 内訳は男性13,786人(128人(0.9%)減)、女性7,034人(41人(0.6%)増)。女性はコロナ禍前と比べ増加傾向。
- 自殺死亡率(10万人対)は、16.44(男性22.5 女性10.8)。
- 男女比は、依然、男性(66.2%)が多い。
- コロナ禍での政府の各種支援策が自殺の増加を抑制している可能性があると分析(JSCP)。

自殺の現状(全国)②

- 月別では令和3年は、3月が最も多く、12月が最も少ない。
- 年齢別では、令和3年は前年と比較して、20歳代、40歳代及び50歳代の各年齢で増加した。その中でも50歳代が最も大きく増加し193人の増加。一方で減少の中では、60歳代が最も大きく減少し158人の減少。
- 年齢別自殺死亡率は、令和3年は前年と比較して、20歳未満及び60歳代以上で低下し、20歳代(0.9)及び50歳代(0.8)で大きく上昇した。
- 職業別では、前年と比較して、無職者、被雇用者・勤め人、学生・生徒等で減少し、自営業・家族従業者で増加。

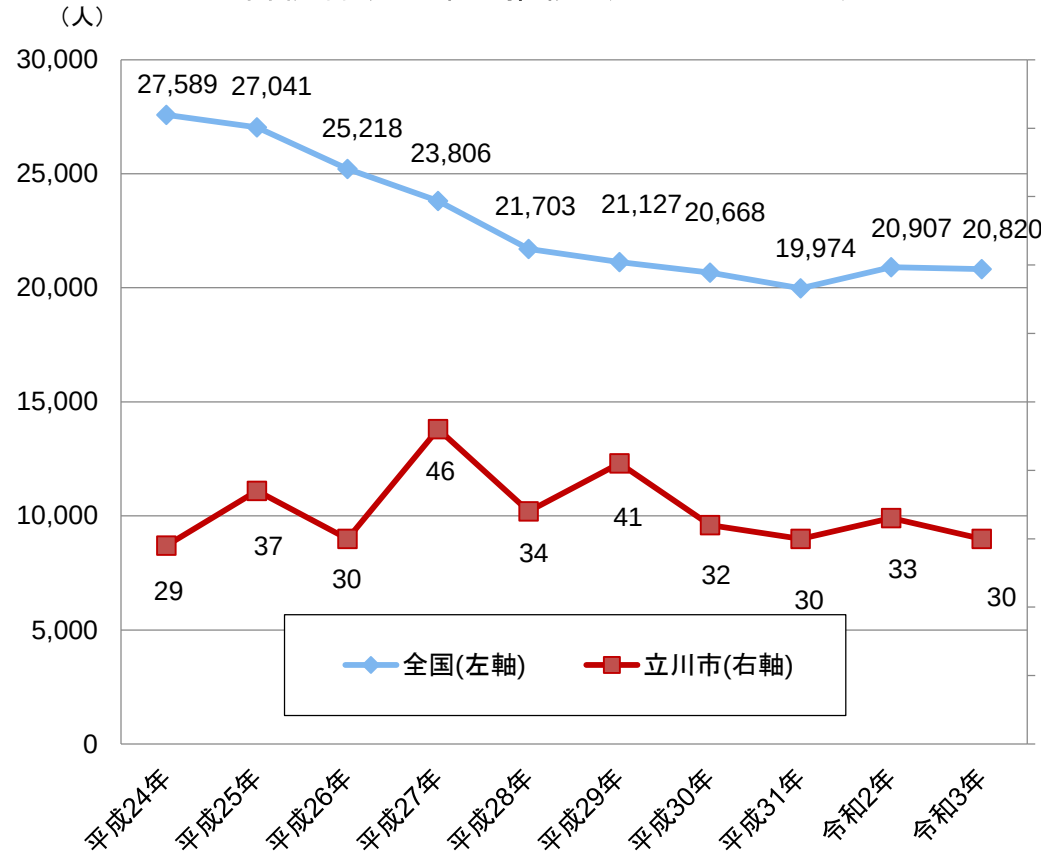
月別自殺者数の推移(全国)



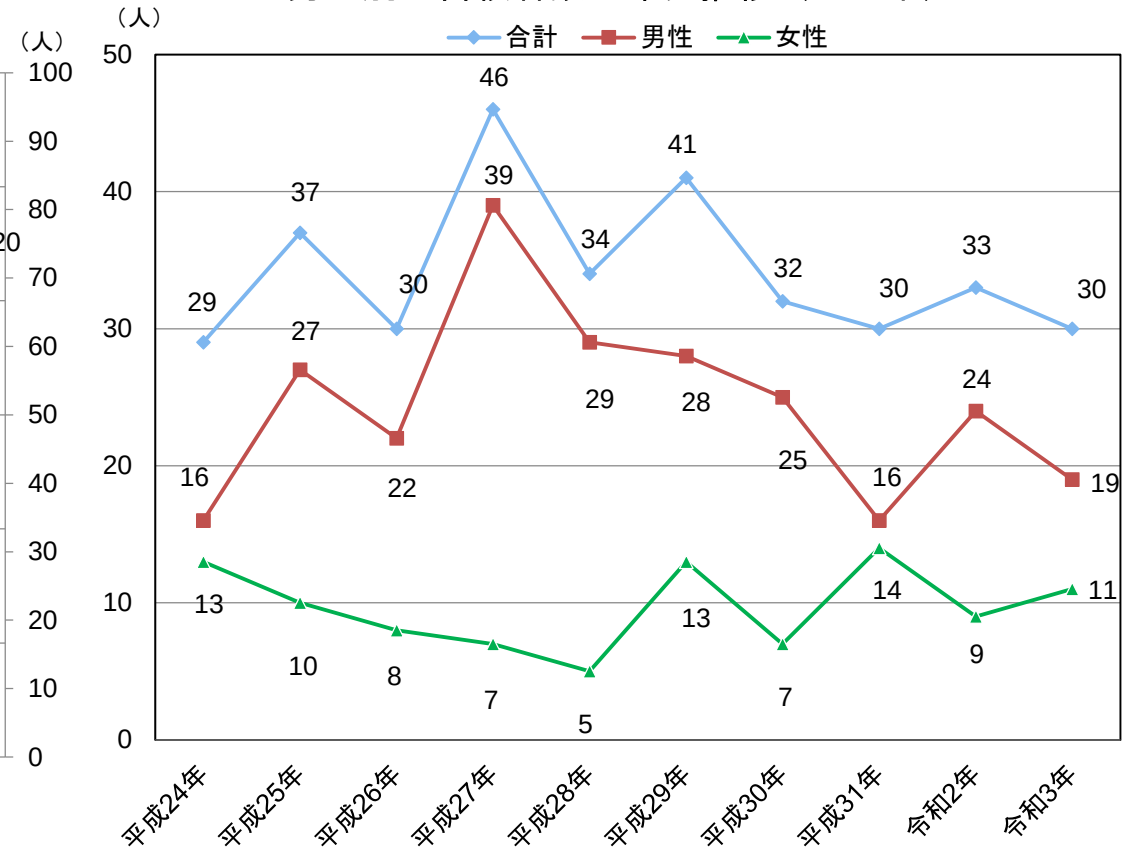
(出典) 警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等 (厚生労働省自殺対策推進室作成)

立川市の自殺者数の状況

自殺者数の年次推移（全国・立川市）



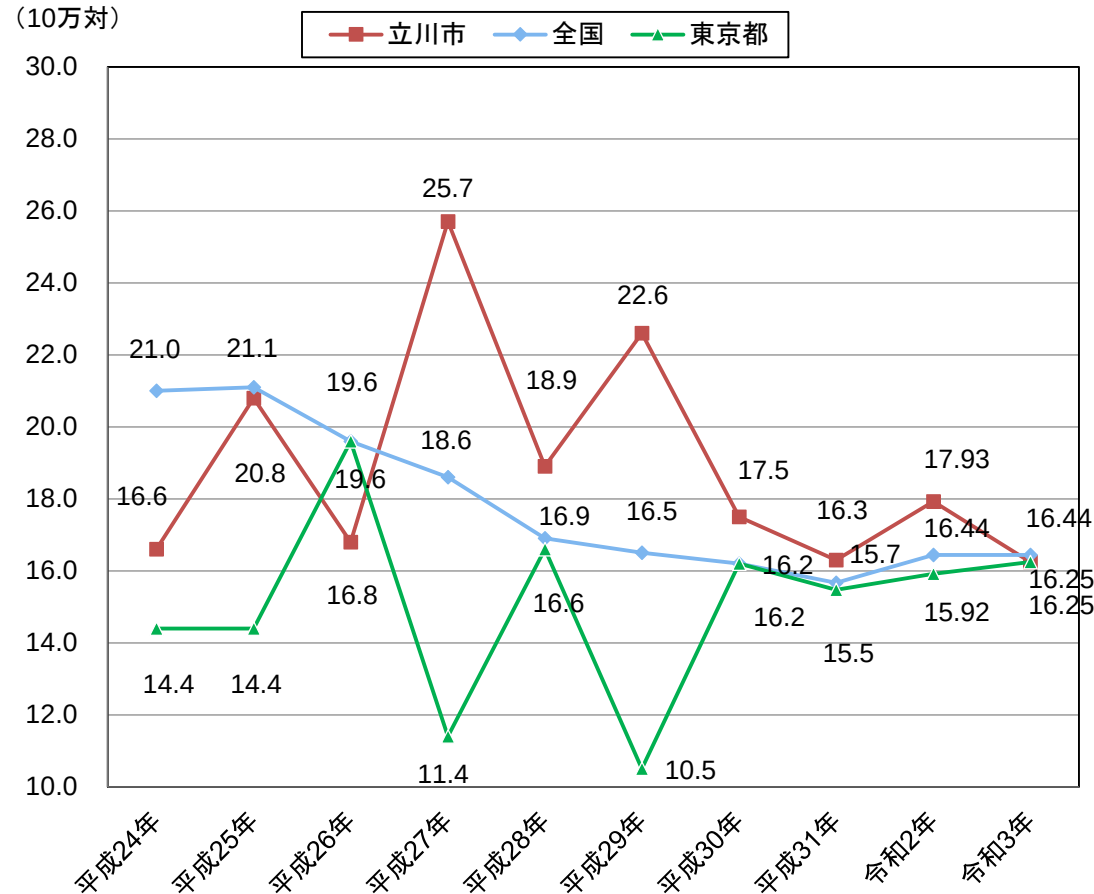
男女別の自殺者数の年次推移（立川市）



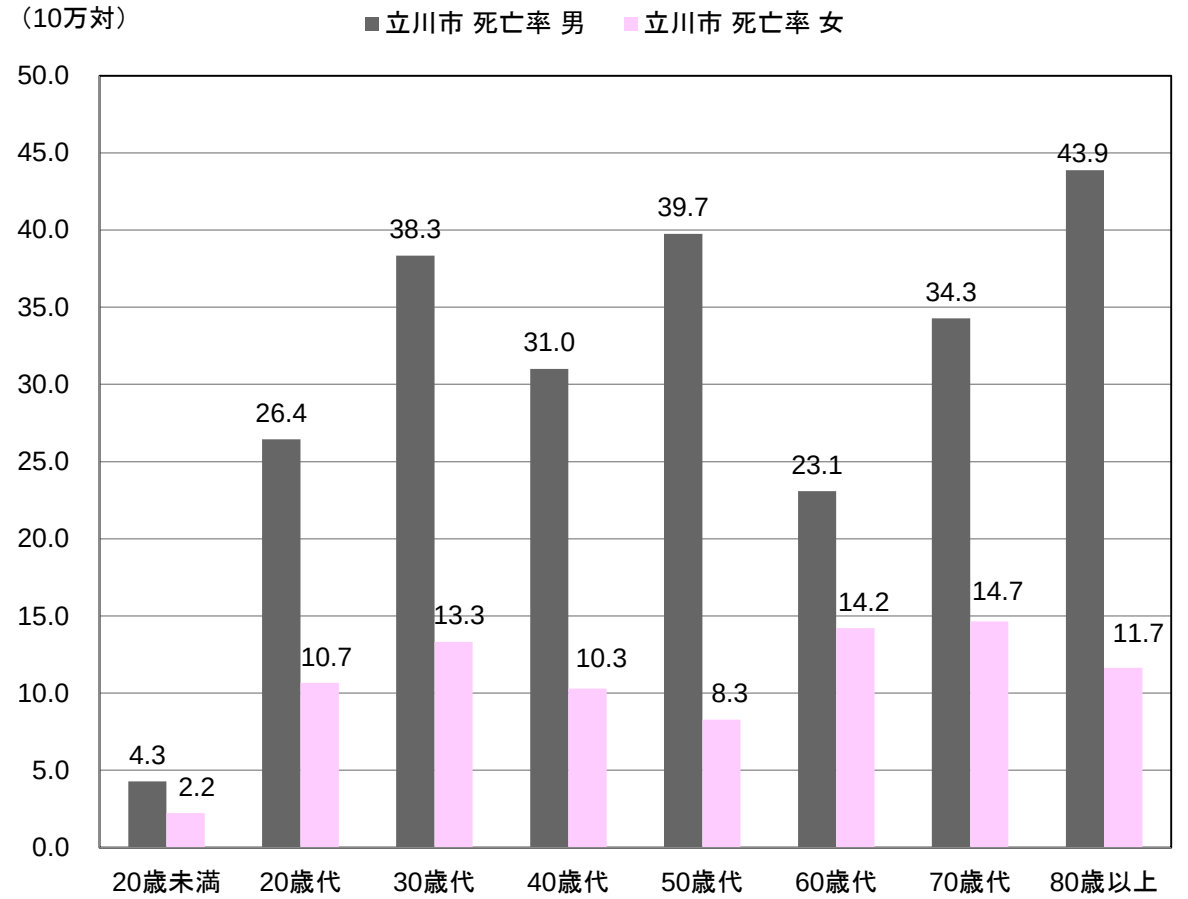
(出典) 厚生労働省 地域における自殺の基礎資料
地域自殺実態プロフィール

立川市の自殺死亡率の状況

自殺死亡率の年次推移（全国・東京都・立川市）



性・年代別の自殺死亡率（平成25年～令和3年合計）

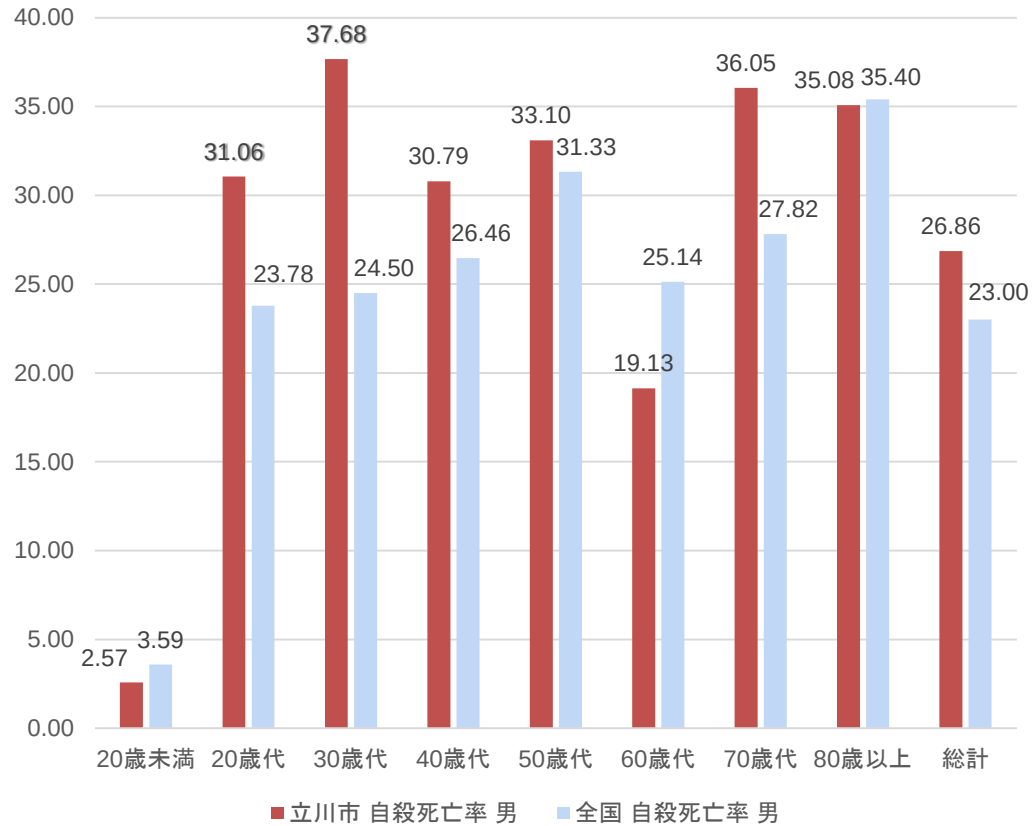


(出典) 厚生労働省 地域における自殺の基礎資料
地域自殺実態プロフィール

自殺死亡率(性・年代別)の状況

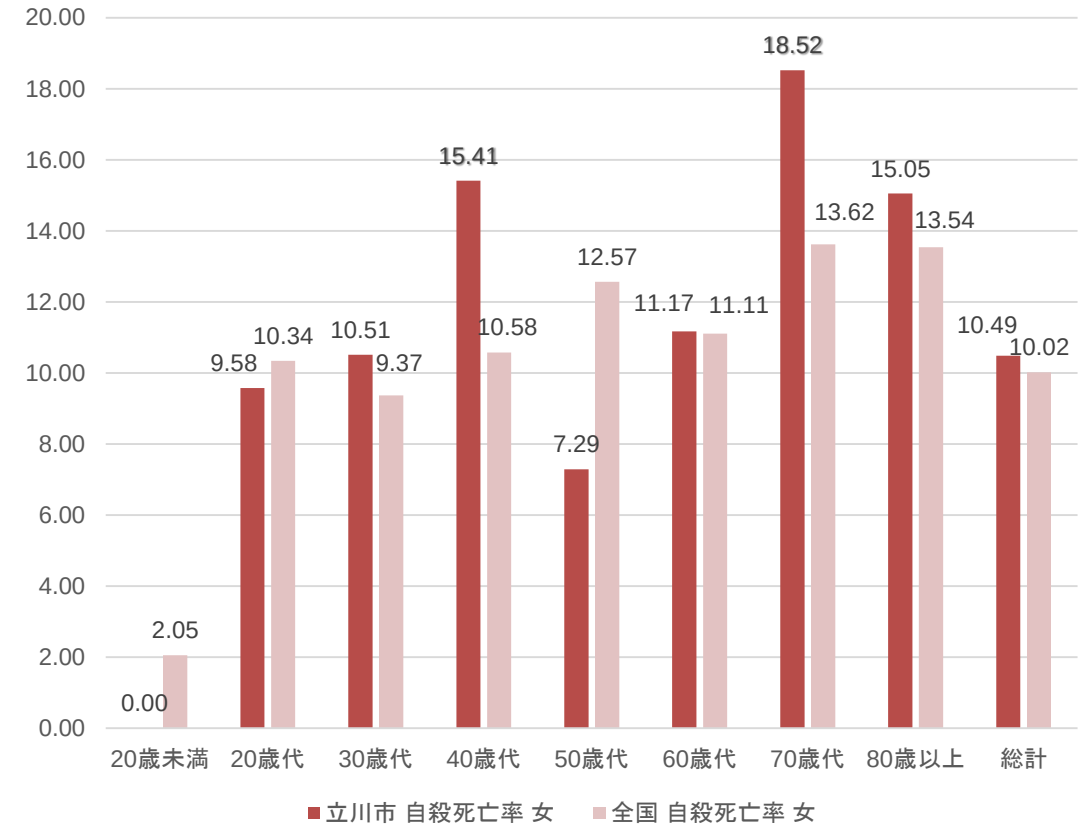
(10万対)

自殺死亡率(男性) 立川市・全国



(10万対)

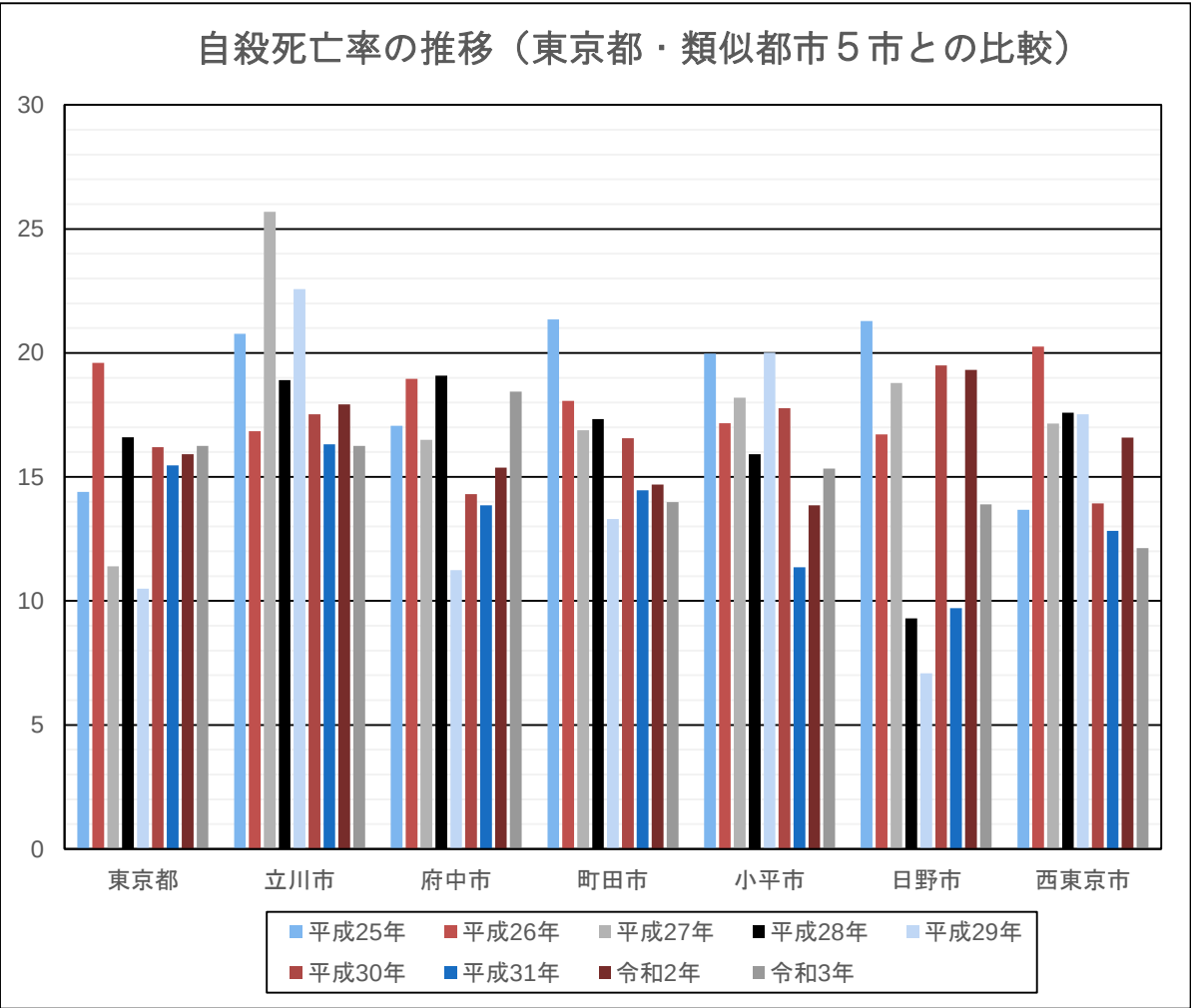
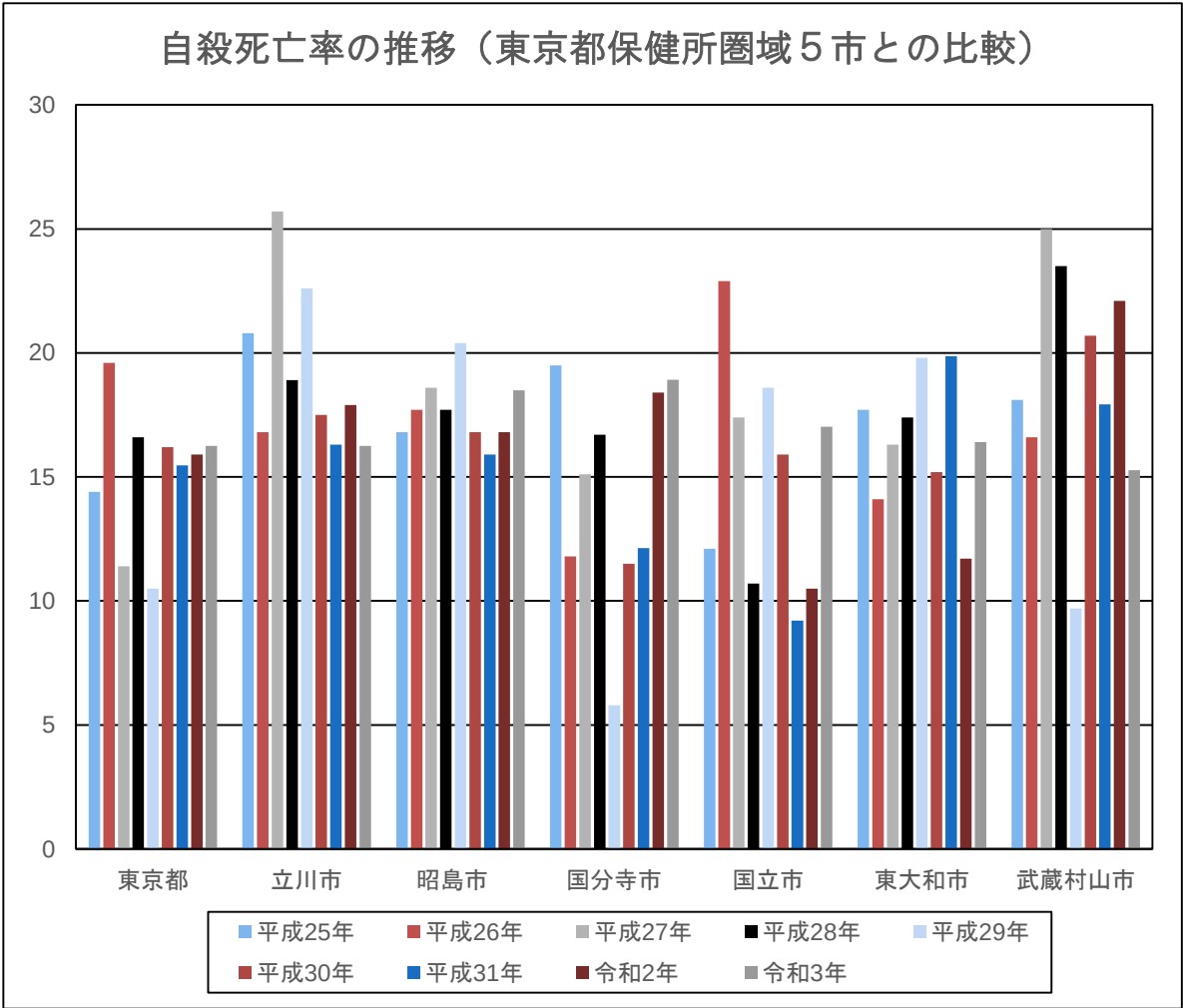
自殺死亡率(女性) 立川市・全国



(出典) 地域自殺実態プロファイル (2021)

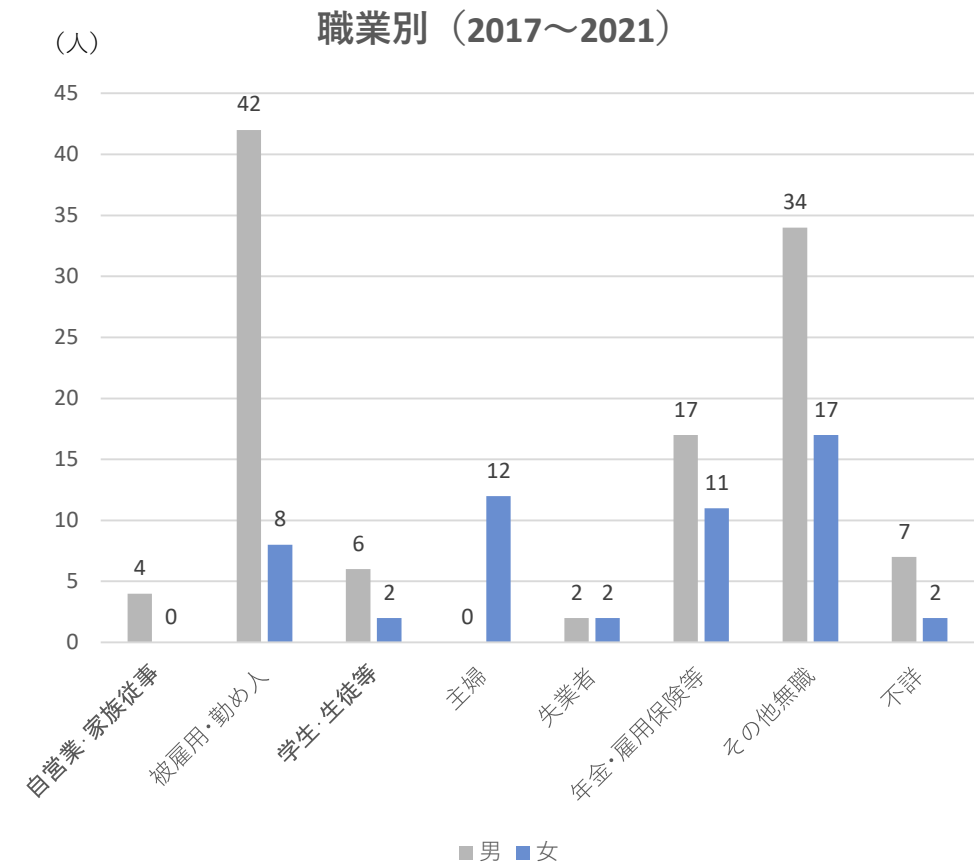
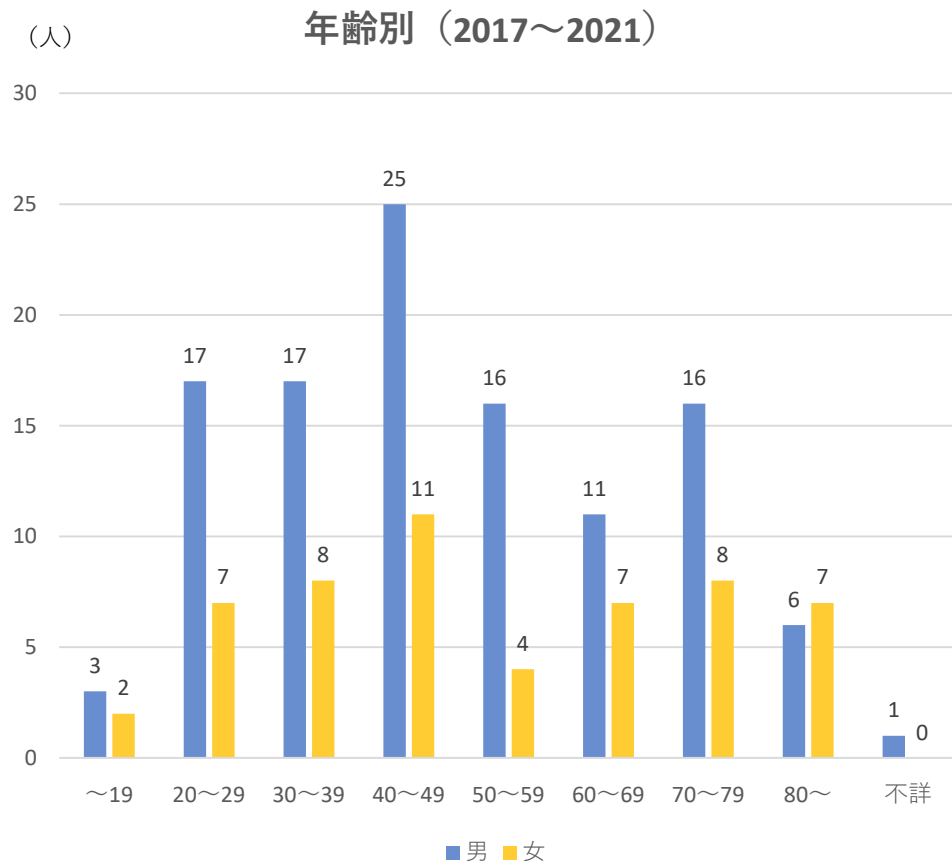
2016～2020年合計

立川市の自殺死亡率の状況

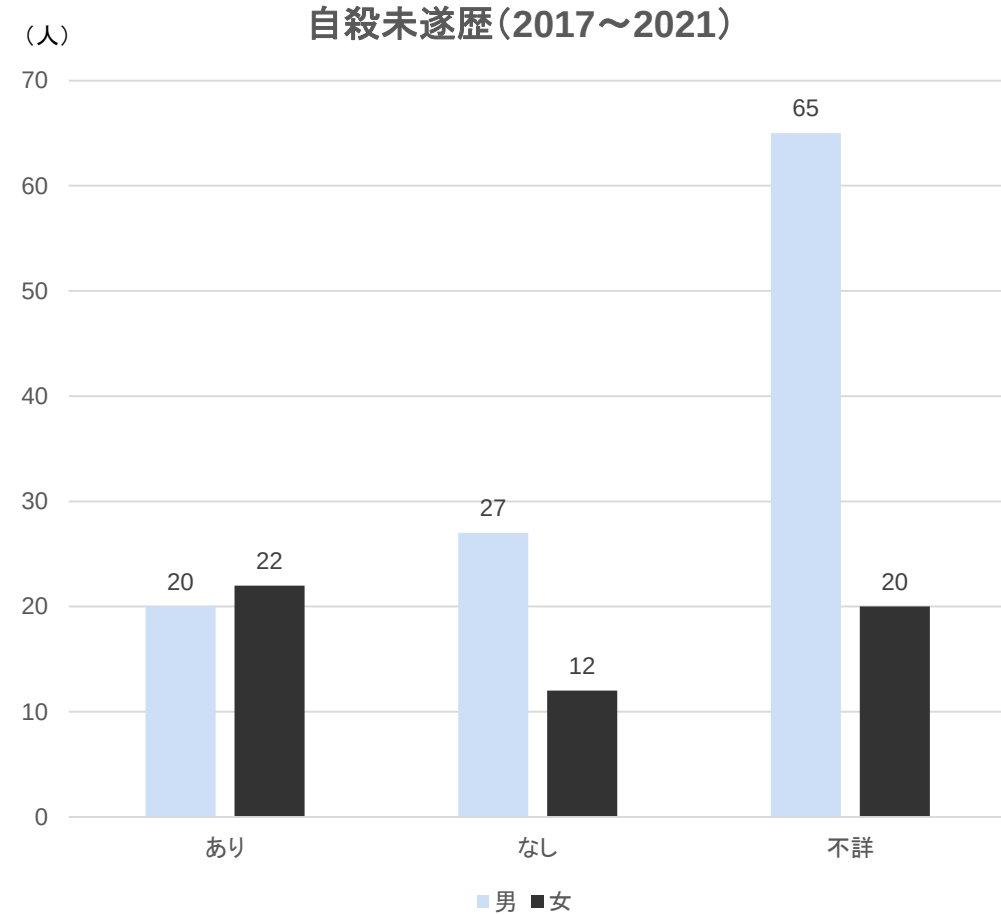
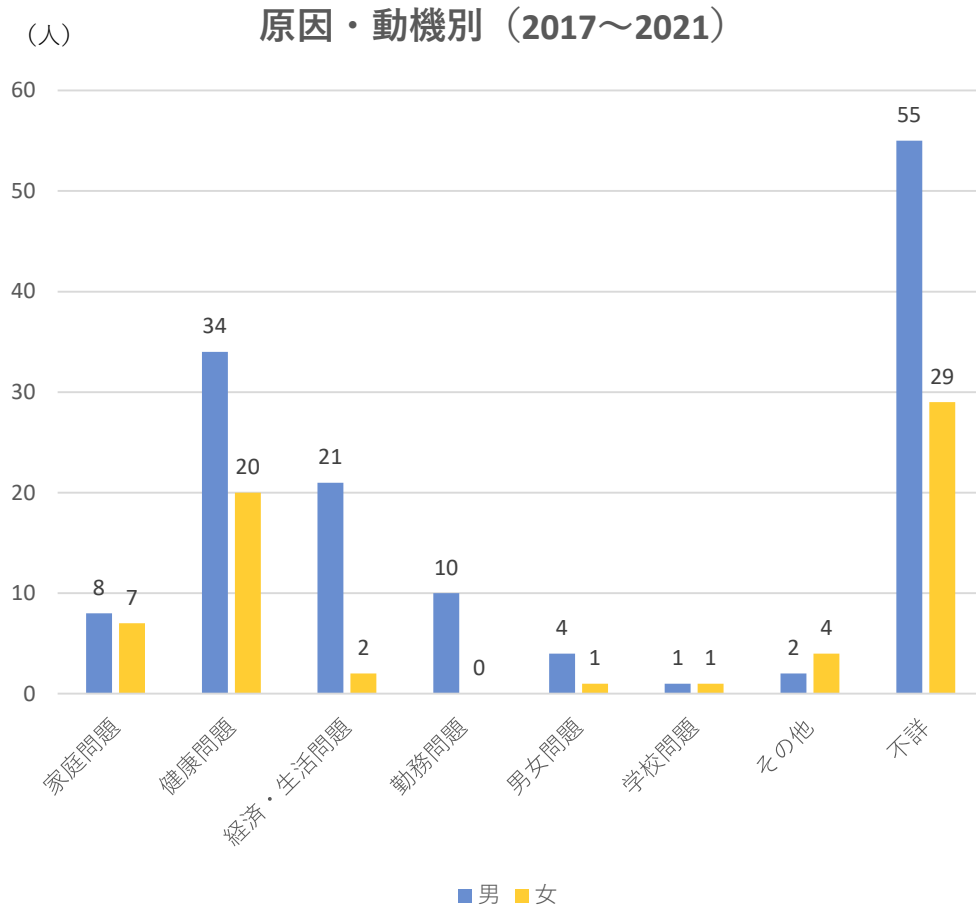


（出典）厚生労働省 地域における自殺の基礎資料
地域自殺実態プロファイル

立川市自殺者数 ①

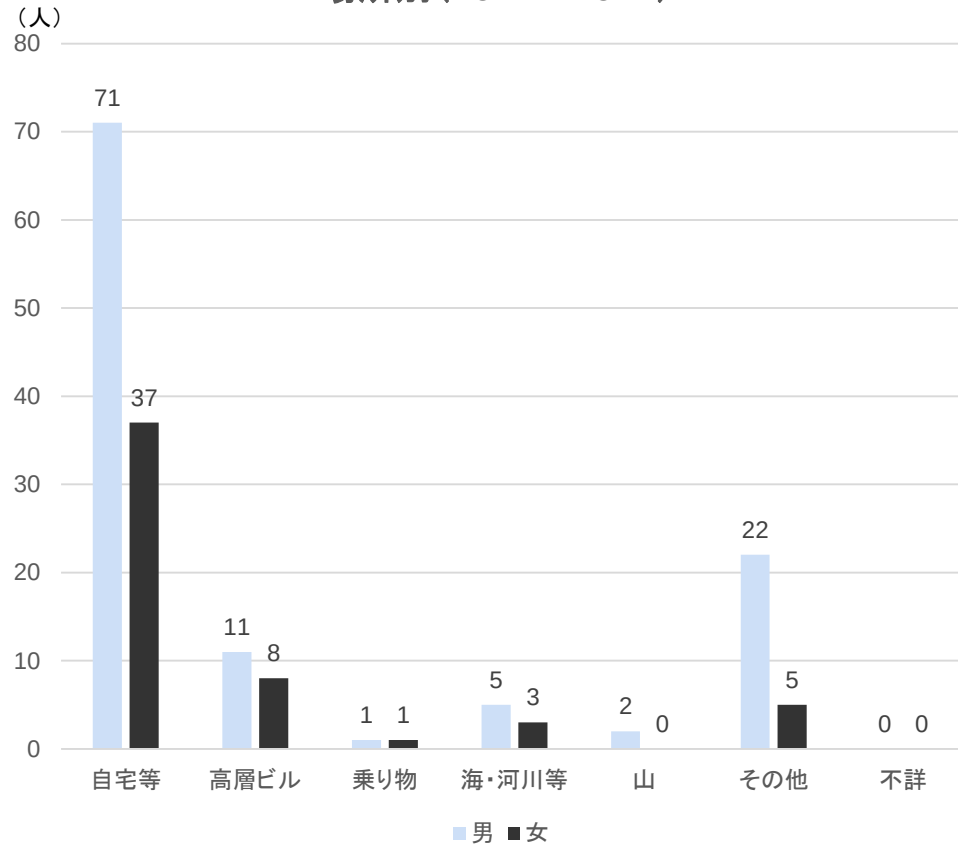


立川市自殺者数 ②

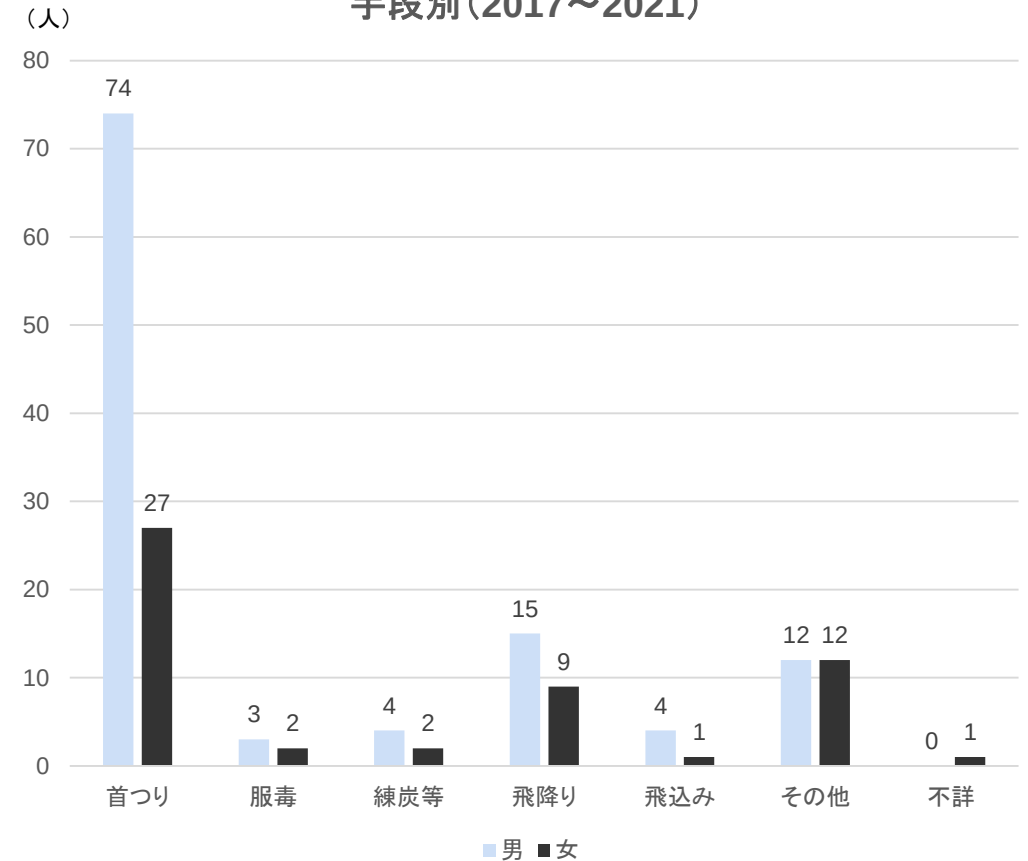


立川市自殺者数 ③

場所別(2017～2021)



手段別(2017～2021)



立川市の主な自殺の特徴

(自殺日・住居地、2016～2020合計170人(男性122人・女性48人))

特性上位5区分	自殺者数 5年計(人)	割合	自殺死亡率 (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路 (推定)
1位: 男性60歳以上無職同居	21	12.4%	42.1	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
2位: 男性40～59歳有職同居	15	8.8%	18.1	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
3位: 男性20～39歳有職同居	12	7.1%	22.5	職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺
4位: 男性20～39歳無職同居	11	6.5%	80.2	①【30代無職】ひきこもり+家族間不和→孤立→自殺②【20代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺
5位: 女性60歳以上無職独居	10	5.9%	31.8	死別・離別+身体疾患→病苦→うつ状態→自殺

令和3年度 自殺対策事業実績①

取 組	実 施	内 容	備 考
①立川市いのち支える自殺総合対策推進本部・検討委員会の開催	①8月5日・②1月20日	自殺対策計画に基づく庁内関係部署の連携と自殺対策の方向性の決定や調整を行った。	【基本施策1-1】
②立川市いのち支える自殺総合対策連絡協議会の開催	①9月29日・②2月14日	地域における自殺対策の推進。計画の進捗管理、その他情報交換を行った。	委員10人 【基本施策1-2】
③ゲートキーパー養成講座(初級・中級)の開催	(初級)9月3日・ (中級)12月1日	(初級)自殺の兆候に対する気づき力を養成する。 市民・職員が対象 (中級)民生委員・児童委員が対象(支援者向け)	(受講者)初級28名・ 中級39名【基本施策2-1】
④メンタルヘルスに関する講座	①9月11日・ ②3月12日	①コロナ疲れとの上手なつきあい方～健やかな睡眠へのいざない(東京医療保健大学と共催)②音楽ではぐくむこころの健康(休日開催・国立音楽大学との連携)	(受講者)①40名②16名【基本施策2-2】
⑤わかちあいの会の開催(共催)	年6回(日曜) 隔月で実施	自死遺族対策(基本4-4) 遺族の孤立防止などの支援を行う団体と連携し支援した。自死遺族の方同士が死別後の感情や体験を語り合い、支え合う場の提供をNPOが運営し実施した。	昭島市との共催事業【基本施策4-4】 参加者全18名
⑥国と東京都の自殺対策強化月間に合わせた、普及啓発のためのパネル展示	①9月27日～28日・②3月8日～13日	①本庁多目的プラザにて自死遺族の声のパネルを展示、こころの相談窓口案内や簡易ストレスチェッカーの配布等を実施した。②中央図書館との共催により自死遺族の声のパネル展示と自殺やメンタルヘルス関連図書の展示を行った。	【基本施策3-2】 (来場者)①101名

令和3年度 自殺対策事業実績②

取 組	実施時期	内 容	備 考
⑦からだところの相談(健康会館) 【資料3参照】	通年	こころの不安、悩みなど(精神保健福祉相談)	【基本施策4-2】 相談件数67件

令和4年度 自殺対策事業実施計画①

取 組	実施時期(予定)	内 容	備 考
①立川市いのち支える自殺総合対策推進本部・検討委員会の開催	6月・1月	自殺対策計画の策定及び推進を行う。また、必要な事項を検討するため検討委員会を開催する。	【基本施策1-1】
②立川市いのち支える自殺総合対策連絡協議会の開催	7月・1月	地域における自殺対策の推進。計画の進捗管理、その他情報交換を行う。	委員10人 【基本施策1-2】
③ゲートキーパー養成講座(初級・中級)の開催	(初級)9月2日・ (中級)①4月7日 ②5月12日③7月7日	(初級)自殺の兆候に対する気づき力を養成する。 市民と市職員が対象 (中級)公立学校教職員(生活指導主任等)が対象。 1学期中に3回に分けて実施。	(受講予定)初級40名・中級30名 【基本施策2-1・5-2】
④立川市ゲートキーパー手帳の作成・配布	7月	自殺対策を担う人材の育成は計画の重要な取組としている。地域でのゲートキーパーの養成のための活用と市民への啓発のためゲートキーパー手帳を700部作成し、養成講座受講者や関係機関、市民等へ配布する。	【基本施策2・3】 700部
⑤メンタルヘルスに関する講座	①11月・②3月・③8/20(土)	①こころの健康教育(東京医療保健大学と共催)②こころの休日健康セミナー(休日開催)③日本で最も自殺が少ない地域の分析をした、「生き心地の良い町」の著者を講師に招き、地域特性から自殺対策を考える講演会をアイムにて実施(昭島市と共催)。	(受講予定)①50名 ②30名③150名 【基本施策2-2】

令和4年度 自殺対策事業実施計画②

取 組	実施時期(予定)	内 容	備 考
⑥わかちあいの会の開催(共催)	年6回(日曜) 隔月で実施	自死遺族対策(基本施策4-4) 遺族の孤立防止などの支援を行う団体と連携し支援する。自死遺族同士が死別後の感情や体験を語り合い、支え合う場を提供する。NPOが運営している。	昭島市と共催事業 【基本施策4-4】
⑦国と東京都の自殺対策強化月間に合わせた、普及啓発のためのパネル展示	①9月・②3月	①本庁多目的プラザにて自死遺族の声のパネルを展示。こころの相談窓口案内や簡易ストレスチェッカーの配布等を実施。②中央図書館との共催により自死遺族の声のパネル展示と自殺やメンタルヘルス関連図書の展示を行う。	【基本施策3-2】
⑧からだとこころの相談(健康会館)	通年	こころの不安、悩みなど(精神保健福祉相談)	通常業務対応 【基本施策4-2】